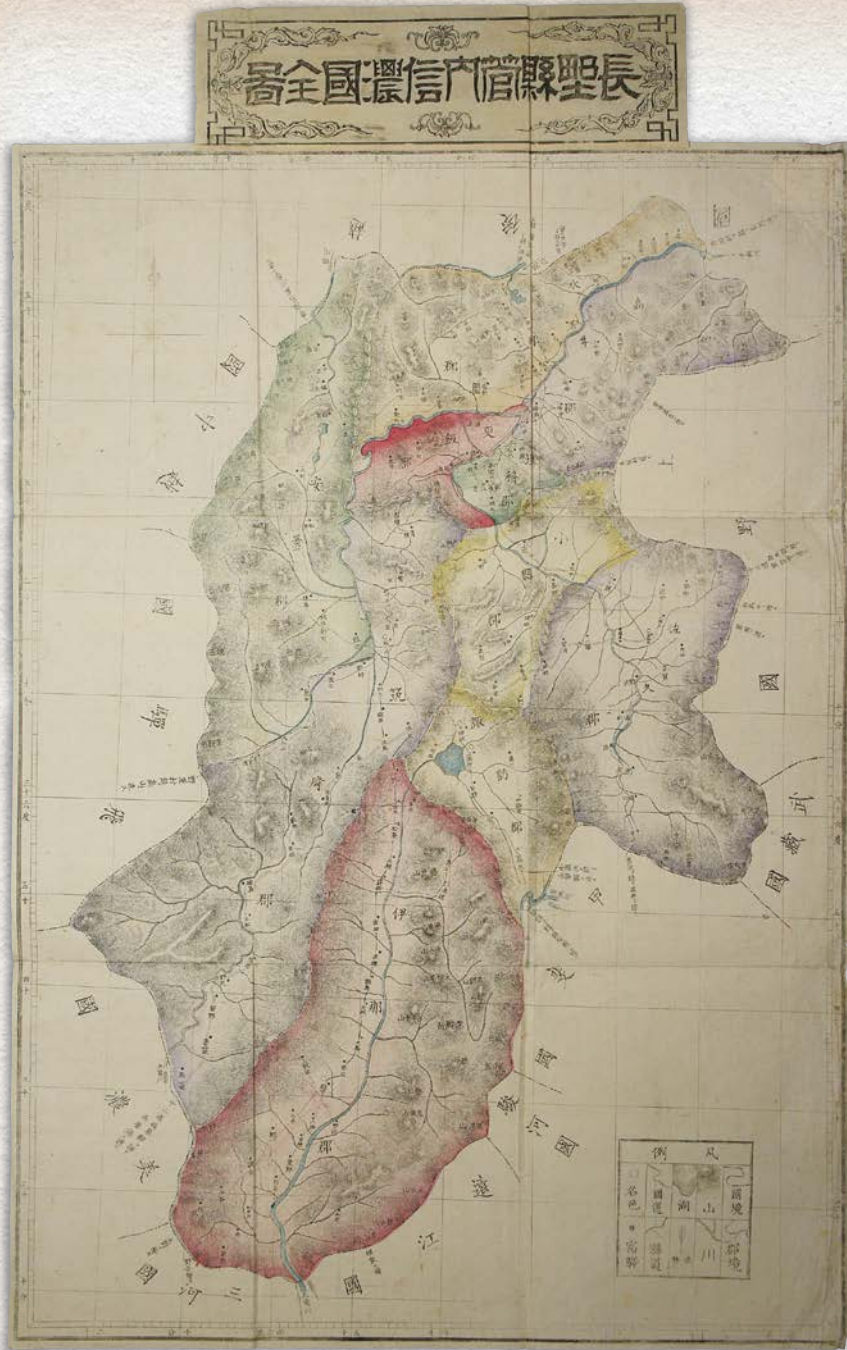


長野県誕生！

— 公文書・古文書から読みとく —



長野県管内信濃全国圖 1880(明治13)年

平成29年
7月8日土 → 8月28日月

開館時間 9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
休館日 毎週月曜日(但し7/17、8/14、8/28は開館)、7/18

区分	企画展	企画展+講座	講座
一般	300円(200円)	500円(400円)	300円(200円)
大学生	150円(100円)	250円(200円)	150円(100円)

()内は

団体20名様以上

- * 高校生以下は無料です。
- * 講座聴講の方は常設展もご覧いただけます。
- * 常設展のみご覧の方は料金300円です。
- * 障がい者手帳などの交付を受けている方と同伴の介護の方は無料です。
- * お得な年間パスポート(2,000円)も販売しています。ご利用ください。

主催 長野県立歴史館
 後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞長野支局、市民タイムス、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日报社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(一社)日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、(公財)八十二文化財団



明治初期の行政文書(長野県宝)

長野県立歴史館

長野県誕生!

— 公文書・古文書から読みとく —

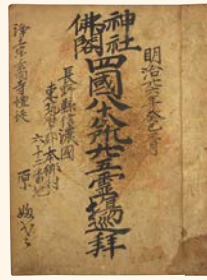
今年は一八六七(慶応三)年十一月九日に大政奉還が行われて一五〇周年。十二月九日(一八六八年一月三日)の「王政復古の大号令」に始まる新政府確立への道は、「明治維新」と呼ばれ、近代日本の出発点とされます。江戸時代の信濃国は一〇を超える藩や細分化された天領によって構成されていましたが、版籍奉還、廃藩置県を経て、最終的に長野県が管轄することになりました。しかし、その後、分県移庁論が再三唱えられることになりましたが、そのたびにともともここは「信濃国」であり「信州」なのだという意識が表面化しました。本企画展では、長野県がどのように成立し、人びとはそれをどのように受けとめたのかを、公文書・古文書から読みときます。

第一章 江戸から明治へ



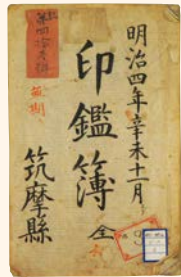
五榜の掲示
1868(慶応4)年
(個人蔵・上田市立博物館寄託)

第三章 庶民から見た「長野県誕生」



四国八十八所巡拝帳
1893(明治26)年
(個人蔵)

第二章 行政機関としての長野県の成立



印鑑簿
1871(明治4)年
(当館蔵)



筑摩県庁火災「公文録」1876(明治9)年
重要文化財(国立公文書館蔵)
公01854100 件名058



筑摩県博覧会「錦絵」1873(明治6)年



講演会 「地方制度にみる明治維新」

7月15日(土) 13:30~15:00
講師：慶應義塾大学経済学部准教授 松沢裕作氏

講座 8月12日(土) 13:30~15:00

「『夜明け前』と伊那県」
講師：青木隆幸(当館学芸部長)
「ここはどこ、私はだれ —明治初めの住所と名前—」
講師：福島正樹(当館学芸員)

こども体験教室 7月30日(日) 10:00~15:00

「プラ板で県のハンコをつくってみよう」
展示室でハンコのある文書や資料をさがし、自分だけのハンコをつくります。* 材料費 100円

●交通案内 長野自動車道更埴ICから車で5分
しなの鉄道屋代駅、屋代高校前駅から徒歩25分
高速道路バス停「上信越道屋代」から徒歩5分